

# 「ボランティアスキルアップセミナー PART 4」

## ★事業の概要★

### 事業のねらい

教育事業「大雪あったかキャンプ」のプログラム実施要項作成に参画して自然体験プログラムの企画立案の方法を習得するとともに、プログラム運営を通して身につけた知識や技術の実践力を養い、施設ボランティアとしての資質の向上を図る。

### 期 日

平成24年1月27日（金）～ 1月29日（日）

### 会 場

国立大雪青少年交流の家

### 対 象 者

高校生以上の青年

### 参加者数：参加募集人数

24名（一般7人、大学生10人、高校生7人）：20名

### 講 師

国立大雪青少年交流の家職員

### 日 程

1/27 (金)											18:45	19:00	21:00		
											受 付	スタッフ ミーティング1	入 浴	休 憩	就 寝
1/28 (土)	7:15	7:30	9:00	12:00	13:00	13:30	14:00	15:45	17:00	17:20	18:30	20:00	21:30	22:00	
	つ ど い	朝 食	スタッフ ミーティング2	昼 食	受 付	開 会 式	あったかキャンプ 雪遊びざんまい!	スノーシュー サイズ合わせ	つ ど い	夕 食 指 導	あったかキャンプ 雪と光で ボカボカの夜!	入 浴 指 導	スタッフ ミーティング3 就寝準備		
1/29 (日)	7:15	7:30	9:00	12:00	13:00	13:30	15:00								
	つ ど い	朝 食	あったかキャンプ わいわい☆にこにこ♪ ウィンターハイキング	昼 食 指 導	閉 会 式	参 加 者 解 散									

# ★プログラム紹介★



スタッフミーティング1

「あったかキャンプ」のプログラムについて確認し、スタッフとしての心構えや役割について学んだ。



スタッフミーティング2

企画した各プログラムごとにグループで集まり、物品や会場の確認、リハーサルなどを行った。



雪遊びざんまい!

子どもたちの緊張をほぐすため、お互いを知り合うゲームや、雪を使った様々な遊びを行った。



雪と光でポカポカの夜!

6つのグループに分かれて思い思いに「スノーランタン」を作っていた。ろうそくに灯がともると、その美しさに歓声が上がっていた。



スタッフミーティング3

子どもたちの様子や健康状態などをスタッフで共有するためのミーティングを行った。それぞれが気がついたことを付箋に残し、情報を持ち寄った。



わいわい☆にこにこ♪ウィンターハイキング

周辺の森の中を、スノーシューをはいて散策した。クイズラリー形式で、みんなで相談しあいながら活動した。

## 企画・運営のポイント

- ① 「あったかキャンプ」でボランティアスタッフができるだけ主体的に動けるように、事前にスタッフとしての心構えや役割分担、子どもと接する際の留意点、プログラム運営のポイントなどを念入りに打ち合わせる時間を設けた。
- ② ボランティアスタッフの気づきを大切にするため、各自に付箋を持たせ、子どもの様子や気がついたことなどを随時記録させた。また、その情報をスタッフミーティングでも利用し、スタッフ間の情報共有に生かした。

## 事業を終えて(成果・課題)

- ① プログラムの企画立案から実施まで通して体験させることにより、参加者の主体性を促し、活動への意欲を喚起することができた。
- ② これまで研修などでスキル向上を図ってきたボランティア参加者の活躍の場を確保するために、次年度以降は子どもを対象とした事業を増やしていく必要がある。
- ③ 施設で活躍するボランティアにとどまらず、各地域で主体的に活躍する人材を育成するためのプログラム構成を検討していくことが求められる。また、参加者の裾野を広げるために、近隣の高校や自治体と連携を図り、広く事業の周知をしていかななくてはならない。